

ポイント1 大規模な水害発生のおそれがあるとき、「広域避難」が必要になる場合があります。

巨大台風や大雨による大規模な水害発生のおそれがある場合、約3日前より段階的に避難の情報を発令します。避難の情報に合わせて、**たとえ天気が良くても、早めの避難をお願いします。**
 ※避難方法は分散避難（在宅、縁故、ホテル、広域避難等）を推奨しており、**避難所への避難は真に必要な方を優先します。**



ポイント2 在宅避難した場合の生活環境と備蓄について

水害で浸水すると、**ライフライン(電気・ガス・水道等)が長期間使えなくなり**、生活にさまざまな支障をきたします。そのため、在宅避難する場合は、水や食料、簡易トイレ等の備蓄が必要です。裏面右側の「主な備蓄品目」をご確認ください。



高齢者や障害者等の避難に際し支障のある方へ

- 自宅の外へ避難する場合には、親戚・知人宅・宿泊施設など、避難所以外の安全な避難先をあらかじめ確保して、早めに避難するようにしましょう。
- 自宅にとどまる場合は、備蓄品の他に、薬なども十分に備えておきましょう。

避難のタイミングなど、水害に関する詳しい情報は、お住まいの区の公式ホームページもご確認ください。